

別添様式1-(1)

自然環境整備計画(国立公園整備事業) 【令和2年度～令和6年度】

ながのけん
長野県

令和元年12月

変更 令和2年12月

令和3年12月

令和4年 7月

令和4年12月

令和5年12月

別添様式1－(2) 目標、計画期間及び整備方針(自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	長野県	対象地域	中部山岳国立公園
-------	-----	------	----------

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度
------	-------------------

<p>目標</p> <p>大目標: 中部山岳国立公園における自然景観、動植物等の保全を図るとともに、適正な利用を推進することを目標に以下の事業を実施する。</p> <p>目標1: 環境保全と利用者の利便性を高めるために老朽化した園地や公衆トイレ等の整備を進める。</p> <p>目標2: 植生保護と利用者の安全確保のために老朽化した歩道整備を進める。</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>対象地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県、新潟、富山、岐阜の4県にまたがる北アルプス山域を含んだ日本最高峰の山岳公園である。 ・ 乗鞍岳、穂高岳、白馬岳など標高3,000m級の高峻な山々がそびえ、槍沢(槍ヶ岳)、涸沢(穂高岳)には、カール(圈谷)地形など各地に氷河時代の痕跡を残す。また、日本海性の気候の影響を受け、積雪量が多いことから、湿生の高山植物が多い点も特徴である。なお、公園奥地まで道路が走る上高地、乗鞍岳では、過剰利用抑止のため、マイカー規制を実施している。 ・ 北アルプスでは、登山道等の維持管理を進めるため、「北アルプス登山道等維持連絡協議会」により、山岳関係者が協力して登山道等の整備を行っている。また、山小屋し尿処理の一層の適正化を図るため、「山岳観光地におけるし尿処理対策研究会」で、関係者間の情報交換が行われている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、公園利用者が多様化、増加しているなか、園地施設や歩道施設、宿舎施設などの老朽化が顕著であり、自然環境の保全と利用者の利便性・安全性を向上させるため一刻も早い整備が必要である。 ・ 各所に点在する自然探勝地を探索・周遊する既存歩道の利用者が増加しているが、一部路線で整備が不十分なため、歩行の安全性とともに歩行者の歩道の踏み外しによる踏み荒らし等も見受けられる。このため、周辺の植生荒廃を防ぐとともに利用者の安全確保のため早急な歩道整備が必要である。 ・ 乗鞍高原では、歩道や標識が老朽化していることから、利用者の利便性や安全性を図るため、早急な歩道や付帯施設の整備が必要である。 ・ 登山者が多様化、増加する中で、上高地槍ヶ岳線歩道沿いの明神・徳沢地区、燕岳野営場、柵池園地に設置される公衆便所の老朽化が顕著であることから、洋式化や自然環境への負荷が少ない仕様に改修することで、自然環境の保全と利用者の利便性の向上を図る必要がある。 ・ 公園利用者の利便性を図るため、未舗装や排水処理が不十分な駐車場の整備や改修が必要である。
--

<p>対象地域の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆便所等の整備 利用者が増加・集中・多様化する登山道等において、自然環境の保全と利用者の利便性を向上する観点から公衆便所等整備を進める。また、利用者が多様な公衆便所については、国際化対応を図るために便器の洋式化や自然環境への負荷が少ないシステムへの改修を行う。 ・ 歩道の整備 利用者が増加・集中・多様化する登山道等について、歩道周辺の植生保護と利用者の安全性確保の観点から老朽化した歩道整備を進める。また、標識類については、国際化対応のための多言語化を行う。 災害により被災した登山道等について、利用者の安全性確保の観点から早期復旧を図る。 ・ 駐車場の整備 公園利用者の利便性を図るため、駐車場の整備、改修を進める。 	<p>方針に沿った主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上高地槍ヶ岳線道路(歩道)事業(明神・徳沢) ・ 燕岳公衆便所事業 ・ 柵池園地事業 ・ 乗鞍高原乗鞍岳線道路(歩道)事業 ・ 乗鞍高原園地事業 ・ 柵池園地事業 ・ 柵池白馬大池線道路(歩道)事業 ・ 河童橋明神池線道路(歩道)事業 ・ 島々明神線道路(歩道)事業 ・ 扇沢駐車場事業
---	--

目標を定量化する指標									
指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		目標年度
						基準年度			
中部山岳国立公園利用者数	万人	自然公園等利用者数調	長野県自然保護課が毎年実施	本整備計画における中部山岳国立公園の施設整備事業において、施設整備による利便性・安全性の向上が利用者の増加につながると考えられる。	600	R1	660		R6

<p>その他必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画期間終了後、設定した指標に係るデータを整理し、目標の達成状況に関する評価を行い、結果を公開していく。

別添様式1-(2) 目標、計画期間及び整備方針(自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	長野県	対象地域	妙高戸隠連山国立公園
-------	-----	------	------------

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度
------	-------------------

目標
 大目標: 妙高戸隠連山国立公園における自然景観、動植物等の保全を図るとともに、適正な利用を推進することを目標に以下の事業を実施する。
 目標1: 植生保護と利用者の安全確保のために老朽化した歩道整備を進める。

目標設定の根拠

対象地域の現状

- ・ 本県と新潟県にまたがり、火山・非火山が密集しているのが特徴の公園である。
- ・ 火山が中心の東部に対し、西部は火山ではない山を多く含む特徴が異なることが明確になり、また広大な高原の東部に対し、西部は山々が密集していることなど、両地域で生息する動物や自然景観が違うことから、平成27年3月27日に上信越高原国立公園から分離独立した。
- ・ 個性的な山々は登山のフィールドとして、また、高原は夏季は自然探勝、冬はスキーのフィールドとしての利用がされている。

課題

- ・ 近年、公園利用者が多様化、増加しているなか、公園施設や歩道施設などの老朽化が顕著であり、自然環境の保全と利用者の利便性・安全性を向上させるため一刻も早い整備が必要である。
- ・ 各所に点在する自然探勝地を探索・周遊する既存歩道の利用者が増加しているが、一部路線で整備が不十分なため、歩行の安全性とともに歩行者の歩道の踏み外しによる踏み荒らし等も見受けられる。このため、周辺の植生荒廃を防ぐとともに利用者の安全確保のため早急な歩道整備が必要である。
- ・ 戸隠高原の鏡池周辺に設置されている公衆便所が老朽化していることから、洋式化や自然環境への負荷が少ない仕様へ改修することで、自然環境の保全と利用者の利便性の向上を図る必要がある。

対象地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道の整備 利用者が増加・集中する登山道・遊歩道について、歩道周辺の植生保護と利用者の利便性・安全性確保の観点から老朽化した歩道整備を進める。歩道の付帯施設である休憩施設、案内板等を整備し、長距離を歩くインバウンド対策を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部北陸自然歩道線道路(歩道)事業 ・ 小谷温泉雨飾山線道路(歩道)事業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆便所等の整備 利用者が増加・集中・多様化する登山道等において、自然環境の保全と利用者の利便性を向上する観点から公衆便所の整備を進める。また、便器の洋式化や自然環境への負荷が少ない仕様への改修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鏡池園地事業

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
妙高戸隠連山国立公園利用者数	万人	自然公園等利用者数調	長野県自然保護課が毎年実施	本整備計画における妙高戸隠連山国立公園の施設整備事業において、施設整備による利便性・安全性の向上が利用者の増加につながると考えられる。	380	R1	440	R6

その他必要な事項

- ・ 計画期間終了後、設定した指標に係るデータを整理し、目標の達成状況に関する評価を行い、結果を公開していく。

別添様式1－(2) 目標、計画期間及び整備方針(自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	長野県	対象地域	上信越高原国立公園
-------	-----	------	-----------

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度
------	-------------------

<p>目標</p> <p>大目標: 上信越高原国立公園における自然景観、動植物等の保全を図るとともに、適正な利用を推進することを目標に以下の事業を実施する。 目標1: 植生保護と利用者の安全確保のために老朽化した歩道整備を進める。</p>

<p>目標設定の根拠</p> <p>対象地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県と群馬、新潟の3県にかかり、高原を中心とした国立公園である。 ・活火山として有名な浅間山(あさまやま)、白根山(しらねさん)はこの山域に属する。山腹から麓にかけて広がる高原では、湖沼や湿原などがみられ、夏季の保養地、冬季のスキー場として非常に人気である。 ・志賀高原は、昭和55年にユネスコエコパークに登録がされ、平成23年以降、地域のブランド価値を一層高め、観光や地場産業の振興につなげていくため、エコパークの活用に向けた検討が進められており、気運が高まっている。 ・苗場山麓は、平成26年12月に日本ジオパークの認定を受けたところ。 ・菅平高原は、夏季の保養地利用や冬季のスキー場利用の人气が高いほか、秋季の紅葉や湿原散策にも多くの観光客が訪れている。 ・米子大瀑布は、日本三大不動尊である米子不動尊奥宮周辺の景勝地として、紅葉時期を中心に多くの観光、参拝客が訪れている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、公園利用者が多様化、増加しているなか、歩道施設などの老朽化が顕著であり、自然環境の保全と利用者の利便性・安全性を向上させるため一刻も早い整備が必要である。 ・各所に点在する自然探勝地を探索・周遊する既存歩道の利用者が増加しているが、一部路線で整備が不十分なため、歩行の安全性とともに歩行者の歩道の踏み外しによる踏み荒らし等も見受けられる。このため、周辺の植生荒廃を防ぐとともに利用者の安全確保のため早急な歩道整備が必要である。 ・志賀高原、苗場山麓では、エコパーク・ジオパークの取組が進められているが、利用のための歩道施設が老朽化していることから、早期に改修を行い利用者の利便性の向上を図る必要がある。 ・菅平高原では、湿原地域を中心に既設木道が老朽化していることから、早期に改修を行い利用者の利便性の向上を図る必要がある。 ・米子大瀑布周辺の既存歩道では、台風による被災や老朽化により一部で通行困難な状況となっていることから、早期に改修を行い利用者の安全性や利便性の向上を図る必要がある。 ・コロナ禍において野営場や園地の利用が増加しており、受入れ環境の整備が必要である。
--

<p>対象地域の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の整備 利用者が増加・集中する登山道・遊歩道について、歩道周辺の植生保護と利用者の利便性・安全性確保の観点から老朽化した施設の改修を進める。 ・公衆便所等の整備 利用者が増加・集中・多様化する登山道等において、自然環境の保全と利用者の利便性を向上する観点から公衆便所の整備を進める。また、便器の洋式化や自然環境への負荷が少ない仕様への改修を行う。 ・野営場、園地の整備 利用者が増加する野営場や園地について、環境保全と利用者の利便性を高めるため、整備や改修を進める。 ・博物展示施設の整備 利用者が増加する博物展示施設(自然保護センター)について、環境保全と利用者の利便性を高めるため、老朽化した施設の改修を進める。 	<p>方針に沿った主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志賀山回遊線道路(歩道)事業 ・志賀高原道路(歩道)事業 ・上信越自然歩道線道路(歩道)事業 ・菅平園地事業 ・米子線道路(歩道)事業 ・五味池御飯岳線道路(歩道)事業 ・鳥甲山登山線道路(歩道)事業 ・中部北陸自然歩道線道路(歩道)事業 ・志賀山縦走線道路(歩道)事業 <ul style="list-style-type: none"> ・毛無山園地事業 ・巢鷹湖野営場事業 <ul style="list-style-type: none"> ・志賀高原博物展示施設事業
--	--

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
						基準年度	目標年度	
上信越高原国立公園利用者数	万人	自然公園等利用者数調	長野県自然保護課が毎年実施	本整備計画における上信越高原国立公園の施設整備事業において、施設整備による利便性・安全性の向上が利用者の増加につながると考えられる。	1380	R1	1450	R6

<p>その他必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間終了後、設定した指標に係るデータを整理し、目標の達成状況に関する評価を行い、結果を公開していく。
--

別添様式1-(2) 目標、計画期間及び整備方針(自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	長野県	対象地域	秩父多摩甲斐国立公園
-------	-----	------	------------

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度
------	-------------------

<p>目標</p> <p>大目標: 秩父多摩甲斐国立公園における事前景観、植物等の保全を図るとともに、適正な利用を推進することを目標に以下の事業を実施する。 目標1: 植生保護と利用者の安全確保のために歩道整備を進める。</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>対象地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県、埼玉県、山梨県、東京都の1都3県にまたがり、金峰山、甲武信ヶ岳、雲取山など標高2000m級の高峰は20数座、1,500m以上の山峰は80余を数える高山地帯である。 ・千曲川、笛吹川、多摩川、荒川など関東・本州中部の代表的な大河川の源流域となっている。 ・本公園は、2019年6月にユネスコエコパークに登録された「甲武信」地域とエリアがほぼ重なっており、国際的な知名度や農産物のブランド力の向上、観光資源としてのさらなる活用に向けた検討が進められており、地域全体の期待が高まっている。 ・活火山が含まれていないため、噴火による植生遷移の後退が起らず、地形変化が最小限に食い止められ、自然度が高く多様性豊かな森林が発達している。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲武信ヶ岳の登山口付近には、ベニバナイチヤクソウとレンゲツツジの群生地が存在し、見頃の時期になると多くの観光客が訪れる。花卉などを観察するために現地を探索する観光客が増加しているが、既設公衆便所の機能が低下しており、自然環境の保全と利用者の利便性の向上を図る必要がある。

対象地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・公衆便所の改修 来訪者が増加・集中する登山口付近の公衆便所について、自然環境の保全と利用者の利便性等の観点から改修を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛木場園地事業

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
秩父多摩甲斐国立公園利用者数	万人	自然公園等利用者数調	長野県自然保護課が毎年実施	本整備計画における秩父多摩甲斐国立公園の施設整備事業において、施設整備による利便性・安全性の向上が利用者の増加につながると考えられる。	17	R1	19	R6

<p>その他必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間終了後、設定した指標に係るデータを整理し、目標の達成状況に関する評価を行い、結果を公開していく。
--

別添様式1-(3) 交付対象事業経費配分等一覧表(国立公園整備事業)

都道府県名		長野県		(金額の単位は千円)												
総事業費(合計)		1,793,674		交付対象事業費(合計)		1,115,547		交付限度額(令和2年度～令和6年度)					557,773			
番号	公園名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		総事業費	交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度					1年目(令和2年度)	2年目(令和3年度)	3年目(令和4年度)	4年目(令和5年度)	5年目(令和6年度)
1	中部山岳国立公園	乗鞍高原乗鞍岳線道路(歩道)事業	松本市	松本市	5,269	R2	R2	5,269	5,269		2,635	5,269	0	0		
2	中部山岳国立公園	乗鞍高原園地事業	松本市	松本市	5,190	R6	R6	0	0		0		0		0	
3	中部山岳国立公園	上高地・槍ヶ岳線道路(歩道)事業	松本市	松本市	160,540	R3	R6	160,540	160,540		80,270		8,162	33,605	107,393	11,380
4	中部山岳国立公園	燕岳公衆便所事業	安曇野市	安曇野市	69,949	R2	R3	69,949	69,949		34,975	1,430	68,519			
5	中部山岳国立公園	柵池園地事業	小谷村	小谷村	58,828	R2	R5	58,828	58,828		29,414	14,828	0	23,320	20,680	0
6	中部山岳国立公園	柵池園地事業	小谷村	小谷村	55,000	R6	R6	0	0		0		0	0		0
7	中部山岳国立公園	柵池白馬大池線道路(歩道)事業	小谷村	小谷村	10,000	R6	R6	0	0		0		0	0		0
8	妙高戸隠連山国立公園	小谷温泉雨飾山線道路(歩道)事業	小谷村	小谷村	14,916	R2	R3	14,916	14,916		7,458	6,930	7,986			0
9	妙高戸隠連山国立公園	中部北陸自然歩道線道路(歩道)事業	長野市	長野市	419	R4	R4	419	419		210			419		0
10	妙高戸隠連山国立公園	鏡池園地事業	長野市	長野市	64,300	R3	R3	64,300	64,300		32,150		64,300			
11	妙高戸隠連山国立公園	野尻湖西部園地事業	信濃町	信濃町	22,000	R5	R6	0	0		0		0	0	0	0
12	上信越高原国立公園	菅平園地事業	上田市	上田市	20,000	R6	R6	0	0		0					0
13	上信越高原国立公園	米子線道路(歩道)事業	須坂市	須坂市	241,637	R6	R6	0	0		0					0
14	上信越高原国立公園	志賀山回遊線道路(歩道)事業	山ノ内町	山ノ内町	85,087	R2	R6	85,087	85,087		42,544	21,868	18,073	22,990	2,156	20,000
15	上信越高原国立公園	志賀高原道路(歩道)事業	山ノ内町	山ノ内町	13,046	R2	R2	13,046	13,046		6,523	13,046				
16	上信越高原国立公園	上信越自然歩道線道路(歩道)事業	山ノ内町	山ノ内町	6,094	R2	R2	6,094	6,094		3,047	6,094	0	0	0	0
17	上信越高原国立公園	上信越自然歩道線道路(歩道)事業	栄村	栄村	4,950	R2	R2	4,950	4,950		2,475	4,950	0	0	0	0
18	上信越高原国立公園	上信越自然歩道線道路(歩道)事業	栄村	長野県	10,560	R2	R4	10,560	10,560	5,280		3,751		6,809	0	
19	上信越高原国立公園	不動滝間山頂線道路(歩道)事業	小諸市	小諸市	49,257	R3	R6	49,257	49,257		24,629		10,000		16,619	22,638
20	中部山岳国立公園	扇沢駐車場事業	大町市	大町市	17,700	R6	R6	0	0		0					0
21	秩父多摩甲斐国立公園	毛木場園地事業	川上村	川上村	2,404	R4	R4	2,404	2,404		1,202			2,404		
22	上信越高原国立公園	五味池御飯岳線道路(歩道)事業	須坂市	須坂市	6,600	R6	R6	0	0		0					0
23	上信越高原国立公園	毛無山園地事業	野沢温泉村	野沢温泉村	300,000	R6	R6	0	0		0					0
24	上信越高原国立公園	巢鷹湖野営場事業	野沢温泉村	野沢温泉村	116,000	R5	R6	116,000	116,000		58,000			6,000	110,000	
25	上信越高原国立公園	鳥甲山登山線道路(歩道)事業	栄村	栄村	3,707	R5	R5	3,707	3,707		1,854				3,707	
26	上信越高原国立公園	中部北陸自然歩道線道路(歩道)事業	軽井沢町	軽井沢町	25,000	R6	R6	25,000	25,000		12,500					25,000
27	上信越高原国立公園	志賀山縦走線道路(歩道)事業	山ノ内町	山ノ内町	22,500	R6	R6	22,500	22,500		11,250					22,500
28	上信越高原国立公園	志賀高原博物展示施設事業	山ノ内町	山ノ内町	220,220	R6	R6	220,220	220,220		110,110					220,220
29	中部山岳国立公園	河童橋明神池線道路(歩道)事業	松本市	長野県	139,612	R5	R6	139,612	139,612	69,806					7,612	132,000
30	中部山岳国立公園	鳥々明神線道路(歩道)事業	松本市	長野県	42,889	R5	R6	42,889	42,889	21,445					12,980	29,909
合計					1,793,674			1,115,547	1,115,547	96,531	461,246	78,166	177,040	89,547	177,147	593,647

別添様式1-(4) 交付対象事業概要等一覧表(国立公園整備事業)

都道府県名		長野県								
番号	公園名	事業名	事業概要	新規・再整備	既存施設の有無	既存施設の概要	整備年度	国庫補助の有無	国立公園事業の手続	交付対象事業の区分
1	中部山岳国立公園	乗鞍高原乗鞍岳線道路(歩道)事業	歩道施設 道標等改修	再整備	○	歩道施設 道標	S50	○	○	老・国
2	中部山岳国立公園	乗鞍高原園地事業	歩道施設 道標等改修	再整備	○	歩道施設 道標	S50	○	△	老・国
3	中部山岳国立公園	上高地・槍ヶ岳線道路(歩道)事業	公衆便所改修2棟(明神・徳沢)、調査設計業務	再整備	○	公衆便所2棟	H2・4	×	△	老・国
4	中部山岳国立公園	燕岳公衆便所事業	公衆便所改修1棟、調査設計業務	再整備	○	公衆便所1棟	H6	○	○	老・国
5	中部山岳国立公園	柵池園地事業	歩道施設 木道改修	再整備	○	歩道施設 木道	S46	○	△	老
6	中部山岳国立公園	柵池園地事業	公衆便所改修1棟、設計業務	再整備	○	公衆便所1棟	不明	×	△	老
7	中部山岳国立公園	柵池白馬大池線道路(歩道)事業	歩道施設 階段改修ほか	再整備	○	歩道施設 階段ほか	不明	×	△	老
8	妙高戸隠連山国立公園	小谷温泉雨飾山線道路(歩道)事業	歩道施設 木道・階段改修ほか	再整備	○	歩道施設 木道・階段ほか	不明	○	△	老
9	妙高戸隠連山国立公園	中部北陸自然歩道線道路(歩道)事業	歩道施設 道標等改修	再整備	○	歩道施設 道標	不明	○	○	老・国
10	妙高戸隠連山国立公園	鏡池園地事業	公衆便所改修1棟	再整備	○	公衆便所1棟	不明	×	△	老・国
11	妙高戸隠連山国立公園	野尻湖西部園地事業	歩道施設 園地改修	再整備	○	歩道施設 園路	不明	×	△	老
12	上信越高原国立公園	菅平園地事業	歩道施設 木道改修	再整備	○	歩道施設 木道改修	H7	×	○	老
13	上信越高原国立公園	米子線道路(歩道)事業	歩道施設 鋼桁橋改修、設計業務ほか	再整備	○	歩道施設 鋼桁橋	H14	×	△	老
14	上信越高原国立公園	志賀山回遊線道路(歩道)事業	歩道施設 木橋・木道改修ほか	再整備	○	歩道施設 木橋	不明	○	△	老
15	上信越高原国立公園	志賀高原道路(歩道)事業	歩道施設 木道改修	再整備	○	歩道施設 木道、木橋	不明	○	△	老
16	上信越高原国立公園	上信越自然歩道線道路(歩道)事業	歩道施設 木道改修	再整備	○	歩道施設 木道	不明	○	△	老
17	上信越高原国立公園	上信越自然歩道線道路(歩道)事業	歩道施設 階段改修ほか	再整備	○	歩道施設 階段	不明	×	△	老
18	上信越高原国立公園	上信越自然歩道線道路(歩道)事業	歩道施設 木橋改修ほか	再整備	○	歩道施設 木橋、階段等	不明	×	△	老
19	上信越高原国立公園	不動滝浅間山頂線道路(歩道)事業	公衆便所等改修	再整備	○	公衆便所1棟ほか	不明	×	△	老
20	中部山岳国立公園	扇沢駐車場事業	駐車場舗装	再整備	○	駐車場	S56	×	△	老
21	秩父多摩甲斐国立公園	毛木場園地事業	公衆便所改修	再整備	○	公衆便所1棟	H10	×	△	老
22	上信越高原国立公園	五味池御飯岳線道路(歩道)事業	歩道施設 道標等改修	再整備	○	歩道施設 道標等	不明	×	△	老・国
23	上信越高原国立公園	毛無山園地事業	公衆便所等整備	新規	—	—	—	×	△	国
24	上信越高原国立公園	巢鷹湖野営場事業	野営場管理棟等改修	再整備	○	野営場管理棟等	S55	×	△	老・国
25	上信越高原国立公園	鳥甲山登山線道路(歩道)事業	歩道施設(鎖工、階段工等)ほか	再整備	○	歩道施設 鎖工、切削工、階段工等ほか	不明	不明	△	老
26	上信越高原国立公園	中部北陸自然歩道線道路(歩道)事業	歩道施設 木橋改修	再整備	○	歩道施設 木橋	不明	不明	△	老
27	上信越高原国立公園	志賀山縦走線道路(歩道)事業	歩道施設 階段改修、測量設計ほか	再整備	○	歩道施設 階段ほか	不明	不明	△	老
28	上信越高原国立公園	志賀高原博物展示施設事業	博物展示施設改修、設計	再整備	○	博物展示施設	H9	×	△	老
29	中部山岳国立公園	河童橋明神池線道路(歩道)事業	歩道施設 木橋改修、測量設計ほか	再整備	○	歩道施設 木橋、木道ほか	不明	×	△	老
30	中部山岳国立公園	島々明神線道路(歩道)事業	歩道施設 木橋改修ほか	再整備	○	歩道施設 木橋、階段ほか	不明	×	△	老